令和４年度 第２回 生活困窮者自立支援事業従事者研修

主催　高知県、社会福祉法人高知県社会福祉協議会

生活困窮者自立支援制度の目標である「生活困窮者の自立と尊厳の保持」及び「生活困窮者支援を通じた地域づくり」に向けては、まずは情報の収集と分析、問題と課題の整理等が必要であり、問題が複合化する程、多職種でアセスメントをする過程が重要になります。そこで、今回の研修では、従事者が実際に対応している事例を通じて、エビデンスに基づいたアセスメントの必要性を理解するとともに、自立支援と地域課題への対応を一体的にマネジメントするための多職種連携によるアセスメント手法を理解することを目的に標記研修を開催します。

１　日　　時　**令和４年１０月７日(金)　10：00～16：00**

２　場　　所　**こうち男女共同参画センター「ソーレ」３階大会議室**（高知市旭町 3-115）

３　参加対象　**自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業　実務者**
その他、生活困窮者自立支援事業に携わる関係機関職員　等

参加費 無　料

４　プログラム

9:30～	受付
10:00～10:05	開会・オリエンテーション
10:05～15:55 **途中休憩有** １時間の昼休憩の他、適宜休憩を挟みます	講 義 ・ 演 習（事例検討） **「多職種連携によるアセスメント手法を理解し複合的多問題事例を紐解く」**（仮） **講　師**　一般社団法人 コミュニティーネットハピネス　代表理事 （株式会社）アストコ　支援アドバイザー 認定社会福祉士　　土屋　幸己　氏
15:55～16:00	閉会

＜プロフィール＞　知的障害児・者支援施設、特別養護老人ホーム、療育等支援事業コーディネーター、富士宮市社会福祉協議会事務局次長等を経て、２００６年に静岡県富士宮市福祉総合相談課長（兼）地域包括支援センター長に就任。富士宮市では、全国に先駆け福祉総合相談支援体制を構築し、ジャンルを問わないワンストップの相談支援体制と地域包括ケアシステムの構築を行い、全国のモデル地域となった。

その後、２０１５年　公益財団法人さわやか福祉財団に入団。財団においては戦略アドバイザーとして介護保険制度で新設された、生活支援体制整備事業の推進と支え合い、助け合いのある温かい地域づくりを推進するため、市町村の支援を行った。同年には、一般社団法人コミュニティーネットハピネスを立ち上げ代表理事に就任し、ソーシャルワークの基本であるアセスメント研修をはじめとする各種研修等も実施している。

５　申込み　**令和４年９月 26 日（月）までに**、下記の URL 又は QR コードより申込フォームにアクセスし参加登録を行ってください。同所属先から複数名申込みをされる場合も、お手数ですが**１名ずつ申込み手続き**をしてください。

URL：https://onl.sc/Ys3PjiR　　**QR コード：**

※申込フォームに記載された個人情報は、研修運営の目的にのみ利用させていただきます。

☞**裏面もご確認ください**

6　留意事項

・ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、オンライン開催に変更する可能性があります。

・ 会場では、コロナウイルス感染症対策として、研修会場内でのマスクの着用、手指消毒、検温にご協力をお願いします。また、座席間の間隔を確保の上実施します。当日 37.5 度以上の発熱がある方については参加をお断りさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

7　問い合わせ先

社会福祉法人高知県社会福祉協議会　地域・生活支援課（担当：竹林、池田）
〒780-8567　高知市朝倉戊 375-1　県立ふくし交流プラザ
TEL.088-844-9019　FAX.088-844-3852　E-mail k-chiiki@pippikochi.or.jp